

2017年度事業報告（案）

（2017年4月1日～2018年3月31日）

特定非営利活動法人

奈良NPOセンター

目次

I. 2017年度事業報告	2
II. 事業報告	3
1. NPO活動の支援に関する事業	3
(1)センター情報及び NPO 関連情報の提供・発信	3
(2)各種相談及び支援業務	3
(3)資金面での活動支援	3
(4)物品の提供	3
(5)共同ワークスペースの設置	4
(6)会員 NPO の情報発信サポート	4
(7)NPO 活動に関する調査研究及び政策提言に関する事業	4
2. 国内外のNPO、企業、自治体等とのネットワークの推進に関する事業	4
(1)NPO フォーラム(SAVEJAPAN プロジェクト)	4
(2)行政との協働の推進	5
(3)企業との協働の推進	5
(4)NPO や大学との協働の推進	7
(5)各種ネットワークへの参画	7
3. 担い手をそだてる事業	8
(1)もうひとつの学び舎事業	8
(2)龍谷大学大学院(政策学研究科修士課程)への推薦	8
(3)講師派遣事業	8
(4)ボランティア・インターンおよび視察受入コーディネート	8
(5)若者支援事業	8
(6)TOES(Team Orange of English Speaking)	9
(7)世界の人とティータイム	9
4. ソーシャルビジネス・コミュニティービジネスに関する事業	9
III. センターの運営に関する事項	10
IV. 各種委員等の派遣	10

I. 2017年度事業報告

奈良 NPO センターは設立以来、県内で活躍する市民や NPO を応援する中間支援組織として活動してきました。まだまだ中間支援組織としての基盤強化が求められています。

2016 年度より始めた「元気なきずなプロジェクト」は、『協働の強化』を主眼に、奈良県内の 14 万人の購読者を持つ朝日新聞の一面を活用し、異なるセクター間(行政・企業・NPO)の協働を市民の方々に知っていただく目的として地域で活躍する NPO 団体の活動、各市町村首長のコメント、その地域の特色などをPRしました。

2017 年度も 5 月(天川村) 10 月(天川西部地区) 12 月(生駒市) 2 月(田原本町)と掲載しました。

懸案でありました NPO 団体の広報につきましても、マスメディア各社のご協力により、多く活動の掲載を頂多くの方々に知っていただく機会になったと考えます。

また、会員 NPO の活動についてもマスメディアの協力をいただき、社会的課題を解決するための NPO 活動を広く社会に知っていただくため広報支援を行いました。

ソーシャルビジネスでは、ソーシャルビジネス・センター奈良設立から7年が経ち、さらにレベルが上がった良いアイデアがエントリーされ、3 月に「第7回ソーシャルビジネスコンテスト 2018」を開催することが出来ました。

また、単体のセクターで解決できない課題解決のため、セクター間の「協働」を進めました。

奈良県内で「ソーシャルビジネスネットワーク」(奈良県産業振興総合センター、公財)奈良県地域産業振興センター、南都銀行、奈良信用金庫、大和信用金庫、奈良中央信用金庫、日本政策金融公庫)をセクターの垣根を超え、協働により立ち上げました。今後 NPO 支援を強化する体制を構築したいと考えています。

特に、センターが設立当初から啓発の一環で実施している「なら NPO フォーラム」で、4年前から「セクター間の協働」を取り上げ、本年度 SAVEJAPAN プロジェクトを NPO・企業・行政と共に考える NPO フォーラムとして開催しました。

地域コミュニティビジネスを確立するために支援を行い、そのノウハウを基に、各市町村の NPO が取り組んでいるコミュニティビジネスへのアドバイスや支援、さらには活動を広く知っていただくように、都度各マスメディアへの広報依頼の支援を行っています。NPO の環境は、新たに必要とされる社会的課題に対応するため、NPO のあり方が多様化し、複雑化している現状です。

また、新たな事業として、天川村からの受託事業として、西部地区にある廃校跡の「てんかわ天和の里」を運営し管理を行っているNPO団体、旧天川西小学校校区推進協議会(地域)の支援を行うことになりました。当センターのこれまでのNPO支援のノウハウを活かして「地域NPOのみなさんによる」自主自立の運営構築に貢献しました。

さまざまな相談を聞く中で、めまぐるしく変化し増え続ける社会的課題解決のため、各分野において取り組んでいる会員 NPO のみなさんの支援を通じ、媒介者として広く社会に対して課題解決のための提言を進めて行く必要があると考える一年でもありました。

結果、さらに中間支援組織として支援活動のあり方を強化、支援を推進するために努めなければならないと考えました。

II. 事業報告

1. NPO活動の支援に関する事業

(1) センター情報及び NPO 関連情報の提供・発信

NPO 活動を行う上で必要な情報を広く発信し、NPO への支援と NPO の普及啓発を実施。

① ニュース & レターの発行 (年 3 回)

* 2017 年 4 月号 10 月号 12 月号

各回 300 部発行

② Web サイトの運営

センター Web サイトにて、会員 NPO の団体情報や、活動告知等についての情報発信

随時掲載

③ メールマガジン「センター定期便」の配信

毎月 5 日・20 日に、会員を対象に NPO 関連情報や会員 NPO の活動情報掲載したメールマガジンを配信。

④ ソーシャルメディアを活用した情報発信の強化

facebook 等を活用し、センター事業について NPO 関連の情報発信。

随時発信

(2) 各種相談及び支援業務

個別相談を通じて、NPO の運営上の課題解決に協力

① NPO なんでも相談

・NPO 運営相談、申請書作成や事業企画等に関する相談

・NPO 法人設立相談

② NPO 支援講座・セミナー

・NPO を運営していく上で必要な事項を重点的に講座やセミナーを実施。また、この講座・セミナーを機に NPO 同士のネットワークを広げた。(ICT 支援講座等)

③ ホームページ立ち上げ支援を大和ブランド推進協議会と協働で実施

「天川村」 1 件

④ 支援業務

・会員 NPO が主催で実施する事業に対して、広報・後援・協力等を実施

NPO 相談	多数
SB 相談	18

(3) 資金面での活動支援

① 初めての助成金申請の書き方講座 & 助成金セミナー

・昨年、一昨年度の助成金セミナーに参加された NPO を中心に助成金支援を実施

事業を推進することに努め、個々の団体の相談支援を実施

② 助成金・委託事業等の情報提供、相談、申請のサポート

・センター Web サイトでの助成金情報の掲載及び、センター定期便(メールマガジン)での情報配信

事務所内に募集要項等の閲覧コーナーを設置。また、政府各省庁による NPO 関連予算に関する資料を提供

・助成金探しのサポート、申請団体への推薦など

(4) 物品の提供

① 物品提供のコーディネート

企業や団体からの物品・遊休在庫の寄贈や、引っ越しや機材の入れ替え等に伴う不要家具・事務機・備品を、それらを必要としている会員 NPO へ仲介・提供を実施

- ・明治製菓(お菓子の寄贈):障がい者支援団体: 5 団体、
- ・NPO 団体: ロッカー・本棚・椅子・本・おもちゃなど : 3 団体

(5) 共同ワークスペースの設置

① 共同ワークスペースの設置

会員 NPO の活動がさらに活発になるように、必要なツール等の貸出

■実施日: 月曜日～金曜日 ■実施場所: 奈良 NPO センター事務所

内容: 輪転機(印刷代、用紙代等実費)、コピー機(コピー代実費)、紙折り機(無料)ラミネーター(ラミネートフィルム代実費)、裁断機(無料)、NPO 関連貸出図書(無料)

※輪転機、紙折り機は故障が多いため9月末で廃棄

コピー機新機種に変更(白黒片面 1枚 5円 カラーコピー片面 1枚 25円)

ラミネーター(A4 1枚 20円 A3 1枚 30円)

後援件数	18
協力広報	多数

輪転機	10
コピー機	12
プロジェクター	12

(6) 会員 NPO の情報発信サポート

会員 NPO が団体の活動情報を地域に広く公開・発信することを支援し、NPO の信頼性を高めた。

① Web サイトにおける情報発信支援(センター情報)

② メールマガジンにおける情報発信支援(センター情報)

センター定期便として、毎月 5 日、20 日に配信。

(年 24 回)

③ City Magazine「マイ奈良」への情報掲載(発行: 株式会社アサコム奈良ニッセイシャ)

会員 NPO 情報や NPO に関する情報を掲載(毎月発行)

4 月「天川村フォレストパワー協議会」、5 月「山野草の里づくりの会」、6 月「おうち保育室 hissi-patchi」

7 月「寧鼓座」、8 月「奈良信用金庫」、9 月「旧天川西小学校校区活性化推進協議会」10 月「きずなや」

11 月「秋篠川源流を愛して育てる会」、12 月「奈良人権部落解放研究所」、1 月「たんぼぼの家」

2 月「チョウタリィの会」、3 月「託児グループ くるみの会」

④ チラシスペースの設置

センター事務所において、会員 NPO のチラシや助成金の募集要項等を設置

⑤ NPO・SB 関連資料の提供

NPO や SB 関連資料(ニュースレター、パンフレット等)を自由に閲覧、持ち帰りできるスペースを設置

(7) NPO 活動に関する調査研究及び政策提言に関する事業

奈良県での地方創生を進めるうえで、市町村における特徴を活かした取り組みなどについて分析研究を実施。また、地域における NPO の主体性についても分析研究を実施

2. 国内外の NPO、企業、自治体等とのネットワークの推進に関する事業

(1) NPO フォーラム(SAVEJAPAN プロジェクト)

「未来へつなぐ春日山原始林の価値と魅力」

開催日時 2 月 24 日(土)10 時～12 時

参加者 73 名

会場 春日大社 共催 春日山原始林を未来へつなぐ会

協力 春日大社 奈良ストップ温暖化の会 協賛 損保ジャパン日本興亜株式会社

基調講演 『神様とともにある森 -春日山原始林-』

講師 春日大社宮司 花山院弘匡(かさんのいんひろただ)さん

取り組み紹介

- ・春日山原始林の保全について

奈良県まちづくり推進局理事兼観光局理事 中西 康博さん

- ・春日山を未来へつなぐ活動について

春日山原始林を未来へつなぐ会事務局長 杉山 拓次さん

パネルトーク「未来へつなぐ春日山原始林の価値と魅力とは」

ショートプレゼン: SAVEJAPANプロジェクトの取組について

損保ジャパン日本興亜(株)奈良支店 高津隆一さん

: ESDの視点から見た春日山原始林の価値

近畿ESDコンソーシアム 中澤静男さん

(奈良教育大学次世代教員養成センター准教授)

パネルトーク 行政 中西康博さん

教育 中澤静男さん

企業 高津隆一さん

市民 杉山拓次さん

コーディネーター: 反田博俊(奈良NPOセンター理事長)

(2) 行政との協働の推進

行政が設置する各種委員会等への委員派遣やフォーラム等へ参加し、行政との情報交換及び協働推進。

- ①各種委員等の派遣 奈良県、奈良市、宇陀市、生駒市に派遣

NPOフォーラムでの行政と協働

- ②行政主催セミナー、フォーラム等へのパネル出展及びプレゼンテーション

4/22 アースディ奈良 2017(ボランティア派遣)

- ③大和川源流体験(詳細は下記)

- ④てんかわ天和の里事業(天川村)(2017年7月～2018年3月)

今年度、天川村役場が、旧天川西小学校跡の「てんかわ天和の里」を拠点とした天川西部地区の活性化を行うプロポーザルを公開。「旧天川西小学校校区活性化推進協議会」(以下:協議会)の支援が条件の地域活性化型 NPO 支援として、センターが採択。9ヵ月の間、1)コンセンサスを得るための会議の構築、2)歴史資産の活用、3)各産業の掘り起こしと地産地消のための六次化産業の構築、4)広報・HP・SNSの充実と運営構築、5)行政や村内・企業・団体・個人との協働構築など、さまざまな交流と対流ができるように支援。その成果として協議会が管理運営している旧天川西小学校跡を「てんかわ天和の里」と名前を変え、次年度より天川村西部の情報発信拠点として協議会が、自主自立の活動を行える仕組みづくりが出来た。

(3) 企業との協働の推進

企業の CSR との協働で、社会貢献事業や SR の普及啓発事業を行うことで、NPO と企業 CSR との関係性を構築。

- ① 大和信用金庫との協働事業

「ふるさと大和川源流体験ツアー」

参加者 99 名

大和川の支流を訪ね、源流探訪や水質検査、自然クラフトを体験しながら、川を守っていくことの大切さについて学ぶツアーを、地域の NPO や地縁組織等の協力を得て開催

■実施時期: 2017年7月17日(月・祝)

■実施場所:大和川支流の布留川

②奈良中央信用金庫との協働事業

ソーシャルビジネスコンテスト 15 団体応募 選考した 10 団体によるプレゼン 参加者 60 名

■実施時期:2018 年 3 月 10 日(土)13 時~17 時

■実施場所:田原本青垣生涯学習センター 研修室 1,2,3 (詳細結果9頁に掲載)

③近畿ろうきんとの協働事業

第1段 すまいるプロジェクト「野迫川村で道普請」(4 年目) 参加者 48 名

2011 年の紀伊半島水害による被災地復興支援のため、世界遺産熊野古道の整備を行っています。

■実施時期:2017 年 10 月 14 日(土)~15 日(日) (内 学生 3 名)

■実施場所:野迫川村 世界遺産小辺路の修復事業

第2段 すまいるプロジェクト「野迫川村道普請シンポジウム」 参加者 56 名

道普請参加者・野迫川村の人がパネラーになり、過疎化の中での、今後の世界遺産の熊野古道をどのように維持管理していくかを考えました。

■実施時期:2018 年 1 月 27 日(土) 13:30~16:30

■実施会場:かしはら万葉ホール

■内 容:基調講演「奥大和の振興について」奈良県地域振興部奥大和移住・交流推進室
室長 福野博昭さん

活動報告 ならコープ・CSR 組織広報部 岡 英幸さん

シンポジウム「野迫川の魅力と熊野古道小辺路~今後の地域づくりに向けて~
パネラー:

レ・ビック・ゴックさん(奈良女子大大学院生) 笠井英樹さん(一般参加)

齋部純一さん(JP 労組奈良南和支部) 津田一馬さん(野迫川村観光局)

吉井善嗣さん(野迫川村住民課長)

コーディネーター:

反田博俊 (奈良NPOセンター 理事長)

助言者: 福野博昭さん (県地域振興部奥大和移住・交流推進室長)

助言者: 浦田和久さん (近畿労働金庫地域共生推進室長)

「NPOパートナーシップ制度」

防災フォーラム 2017 「発災時の初動を学ぶ」 各団体の強みを活かした取り組みに向けて

参加者 86 名

本年度は、奈良防災プラットフォーム連絡会と共催で開催しました。奈良防災プラットフォームには、県内で災害発生時に支援に協力できる団体が 20 団体加盟しています。その加盟団体の会員の研修になるような内容にしました。

■ 実施時期:2017 年 11 月 30 日(木)13 時~17 時

■ 実施場所:奈良県文化会館 小ホール

■ 講演 「被災地における初動の連携を学ぶ」 講師 岡村こず恵(大阪ボランティア協会)

報告 奈良県における初動の想定について 奈良県防災統括室、青少年・社会活動推進課
トークセッション

「奈良防災プラットフォーム連絡会」参加団体の平時の活動紹介

④SAVE JAPAN プロジェクト

全国の環境団体と、奈良NPOセンター、損害保険ジャパン日本興亜と日本NPOセンターが協働して、希

少生物種を守る体験型のプログラムを実施。これまで、あまり地域の環境活動に参加する機会が少なかったさまざまな方に参加してもらうことにより、生物多様性を理解し、環境保全活動に参加するきっかけを構築。

春日山自然学校プロジェクト

■実施時期:2017年4月22日(土) 10時~13時

1. 春日山原始林の木々を守ろう 実施:春日山原始林を未来へつなぐ会
2. 春の奈良公園を五感で楽しもう 実施:奈良県シェアリングネイチャー協会
3. 春の奈良公園の自然と遊ぼう! 実施:奈良自然観察会
4. 奈良公園の自然と歴史を知ろう 実施:奈良・自然への感動を伝える会「ならなぎ」

NPOフォーラム(SAVE JAPAN プロジェクト)「未来へつなぐ春日山原始林の価値と魅力」

■実施時期:2018年2月24日(土)

第一部シンポジウム 10時~12時(NPOフォーラム合同)(詳細報告4~5ページ)

第二部春日山原始林ツアー「歩いて感じる春日山原始林の魅力」参加者30名

ガイド:春日山原始林を未来へつなぐ会・コース 北遊歩道

⑤元気なきずなプロジェクト

各地域の活躍するNPOや市民を、朝日新聞1面の2/3で紹介する。その掲載に自治体や地域の企業と協力して応援する事業

5月(天川村) 10月(天川西部地区) 12月(生駒市) 2月(田原本町)

(4)NPOや大学との協働の推進

NPOや大学との情報共有及び意見交換を通じ、新たな社会づくりとエンパワメントを推進

① 災害支援ネットワークへの参画

- ・奈良防災プラットフォーム(県社協事務局)に参加、大規模災害発生時の支援体制について協議
本年は、防災フォーラム2017を共催で開催しました。(詳細は6ページ)
- ・東日本大震災によって、奈良県へ避難された避難者の支援のために、東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)に入り、全国的な支援活動に参加。2月2日JCN会議参加(大阪ろうきん)
- ・県内避難者の会(のまはら)に参画。(毎月運営委員会)

② 県内外の各大学との連携

奈良教育大学 ボランティアコーディネーター派遣

ESD教育連絡会議

奈良県立大学 連携協定を締結

NPO論 講座担当

外部評価委員

帝塚山大学 ボランティア論 講座担当

龍谷大学大学院 政策学研究科修士課程への推薦

(5)各種ネットワークへの参画

- ① 日本NPOセンター会員
- ③ 2府4県中間支援団体連絡会
- ③ 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)
- ④ 奈良防災プラットフォーム連絡会
- ⑤ 奈良県結婚応援団員会議

- ⑥ 関西 SDGsプラットフォーム
- ⑦ 奈良ソーシャルビジネス支援ネットワーク

3. 担い手をそだてる事業

(1) もうひとつの学び舎事業

「子どもの参画」の実現と「学びを通して地域づくり」をめざす。

地域資源や人材を活かし子どもたちがやりたいことを自ら企画する講座を実施

もうひとつの学び舎

- 実施日：2017年第1期 5月13日(土) 6月10日(土) 7月8日(土) 参加者のべ79名
A 本の森を探検しよう！ B 奈良公園の自然を感じよう C クレイアニメを作ろう！
- 2017年第2期 10月14日(土) 11月11日(土) 12月9日(土) 参加者のべ50名
A 世界のお好み焼きを食べよう B 防災チャレンジ！サバイバル力を身につけよう
C クレイアニメを作ろう
- 2018年第3期 1月13日(土) 2月10日(土) 3月10日(土) 参加者のべ66名
A つくってまなぼ！日本のおもち(奈良県立大学生による企画)
B 竹の文化を楽しもう！ C クレイアニメを作ろう！

■実施場所：奈良市中部公民館 他

(2) 龍谷大学大学院(政策学研究科修士課程)への推薦

人材育成事業の一環として、行政への政策提言の手法やNPOのあり方や異なるセクターの視点や考え方など、これからの協働の進め方などについて学び、分析力を身に着け、これからのNPOの担い手として一年間政策学修士をめざして学んでいただける機会を進めた。(2017年度1名合格 授業料免除)

(3) 講師派遣事業

NPOや行政、大学、企業等のニーズに合わせて講師の派遣を実施

また、講師登録制度を設け、派遣講師の構築

天川村、(株)谷林業、宇陀市商工観光課、奈良学園高校

(4) ボランティア・インターンおよび視察受入コーディネート

① 学生ボランティア及びインターン、視察の受け入れ

学生が、NPO やボランティアの現場で生の体験を通じて学びを深めることを目的とし、授業の一環として、インターン実習や視察の受け入れ、また会員団体へのインターン受け入れコーディネートを実施

また、会員団体のニーズに応じて学生ボランティアの派遣等

県立大学 NPO 論受講生 32 名を NPO 調査に派遣

ACT インターン(奈良女子大ベトナム人留学生)受入

② 視察の受け入れ及びコーディネート

学生に限らず、NPO・行政・企業等からのセンター視察受入及び会員団体への視察受入のコーディネートを実施

(5) 若者支援事業

未就労(ニート、引きこもり)の若者が増加している。そんな若者への支援事業として、キャリアコンサルタントによる就労相談、また就労へのステップとして、インターンを受入れ当センターや関係 NPO でボランティア体験や就労体験を実施。未就労の若者に就労推進に向けたICT技術習得講座を開催

(6) TOES (Team Orange of English Speaking)

連合愛のカンパ助成金

外国人観光客が急に増え、町中で道に迷っている外国人をよく見かけるようになり、そんな外国人を助けたいとボランティアが立ち上がり、外国人観光客を対象に街頭に立って積極的に道案内をしたり、街の情報を提供する事業を実施。JR 奈良駅で登録ボランティアが一昨年4月より実施。

2ヶ月に1回ボランティアミーティングを実施

登録ボランティア数 32名

<TOES キックオフフォーラム>

日時: 2017年5月20日(土) 会場: 奈良県立大学 地域交流センター

内容: 基調講演「地域振興と観光」

講師 元国土交通省事務次官 岩村敬氏(現県立大学客員教授)

奈良市、奈良 YMCA の取組紹介

ワークショップ「国際観光でわたしたちにできること」参加者全員で実施した。

参加者 55名

(7) 世界の人とティータイム

奈良在住・滞在(留学・研修)の外国の人を招き、お茶を飲みながら、その国の文化や習慣を学び、国際感覚豊かな市民を育成。外国人観光客が増加して、より一層外国や外国人に対する偏見・差別感を取り除き理解を深める取り組みが必要

開催日 毎月第2木曜日 午後2時～3時30分(1月、8月は休み)

4月ベトナム、5月ニュージーランド、6月エクアドル、7月メキシコ、9月ネパール、10月インドネシア

11月マレーシア、12月中国、2月アフガニスタン、3月バングラディシュ

毎回 15名～30名の参加者

4. ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスに関する事業

「ならソーシャルビジネスセンター」の活動を充実させるため、奈良でソーシャルビジネスを志す人たちの支援事業を推進

(1) ソーシャルビジネスなんでも相談

ソーシャルビジネスを志す人を対象に、さまざまな相談に対応

相談者 18名

必要に応じて税理士、弁護士等の専門家による相談も実施(有料)

(2) ならソーシャルビジネスカフェの開催

ソーシャルビジネスに関心のある人たちを対象に、さまざまな角度からソーシャルビジネスを学び、語り合う場を提供

1月30日(火)

参加者 9名

(3) 「第7回ならソーシャルビジネスコンテスト」の開催(再掲)

NPO活動を活かしたビジネスモデルを募り、コンテストを実施。応募作品15点中書類選考で10団体に、プレゼンテーションでコンテストを下記のように実施

■協賛企業: 奈良中央信用金庫

■開催時期: 3月10日(土)13時～17時

■実施場所: 田原本青垣生涯学習センター

■受賞団体

SB 大賞:谷林業株式会社

優秀賞 : NPO 法人京終、斑鳩西里まほら

田原本町長賞: キャリコ(アトリカ)

ならちゅうしん賞:株式会社 実生イーライフ

奈良 NPO センター賞: 山と温泉共同事業体

(4)ソーシャルビジネス情報誌 VISION の発行

親しみやすいテーマでの情報誌を発行し、ソーシャルビジネスへの関心を高める為、ネット情報誌として発信(現在は FB で配信)現在、NPO 情報のホームページを開設予定で、費用削減のためデジタル版として構築中

Ⅲ. センターの運営に関する事項

1. 第 16 回総会・交流会の開催

■実施日 :2017 年 5 月 28 日(日)13 時 30 分～16 時

■実施場所 : 奈良市生涯学習センター

■基調講演 : (社)SPSラボ若年認知症サポートセンターきずなや

■会員交流会:新 NPO 会員の紹介などで交流

2. 理事会の開催(年4回)

開催日

第 1 回 4 月 25 日(火) 第 2 回 9 月 19 日(火) 第 3 回 12 月 5 日(火) 第 4 回 3 月 30 日(金)

3. 運営委員会の開催(毎月開催、日程は調整)

各事業担当者 ソーシャルビジネス(コンテスト) もうひとつの学び舎

4. 事務局運営体制

(1)人員体制

理事長 : 反田博俊

副理事長 : 武田千加代

常務理事 : 北浦由香、リングホーファー・マンフレッド

事務局長 : 奥村直幸

理事 : 小島道子、小尾二郎

事務局ボランティア : 石川泰司、上田 博、木原専太郎、草川克子、レ・ビック・ゴック

(2)会議等

* 事務局会議: 毎月第2回程度実施

* 事業毎に担当理事で運営委員会を開催

5. その他

顧問 飯田 誠(飯田法律事務所)

Ⅳ. 各種委員等の派遣

理事長 反田 博俊

- ・帝塚山大学 非常勤講師
- ・奈良県立大学 地(知)の拠点整備事業外部評価委員会委員
- ・宇陀市まちづくり活動応援助成金 審査委員会委員
- ・奈良市表彰審査委員
- ・奈良県防災プラットフォーム連絡会
- ・一般社団法人 地域未来エネルギー奈良 顧問
- ・一般社団法人 大和ブランド推進協議会 顧問
- ・一般社団法人 野迫川村観光局 顧問

副理事長 武田 千加代

- ・奈良県共同募金会 評議委員
- ・奈良市男女共同参画推進審議会 委員
- ・奈良県男女共同参画県民会議 委員

常務理事 北浦由香

- ・生駒市市民活動団体支援制度審査会委員

理事 小島 道子

- ・奈良県防災委員会委員
- ・奈良教育大学 奈良 ESD コンソーシアム構成団体連絡会議

理事 小尾 二郎

- ・奈良教育大学 次世代教員養成センター ホランティアサポートオフィス ホランティアコーディネーター

理事・事務局長 奥村 直幸

- ・奈良県立大学 兼任講師
- ・一般社団法人 地域未来エネルギー奈良 理事
- ・一般社団法人 大和ブランド推進協議会 理事

理事 上林 久美子

- ・奈良県結婚応援団員

監事 黒飛 啓

- ・奈良県地球温暖化防止活動推進センター運営委員会 委員